中央卸売市場会計(令和6年度)

(1) 財政状況

市場事業は、地方公営企業法の財務規定等の一部適用事業として、独立採算を原則に運営している。

市場会計は、昭和47年度から平成元年度まで経常損益での赤字が続き、昭和63年度の旧神田市場等の跡地売却に伴う受取利息の増加により、平成2年度から平成6年度まで黒字となったが、営業費用の増加と受取利息の低下などにより、平成7年度に再び赤字となり、それ以後、赤字幅が拡大した。

このため、今後の施設整備財源を確保し、市場財政の健全化を図るため、経費節減等事業の 効率的運営を徹底するとともに、平成12年4月に16%(12年度8%、13年度14%、14年度16% の段階的実施)の使用料改定を行い、平成19年度に企業債繰上償還による支払利息の圧縮を 行った。こうした取組により、平成12年度から平成27年度にかけて黒字で推移してきたが、平 成28年度以降は、豊洲市場への移転準備経費の増加や豊洲市場の減価償却費等の影響などによ り、赤字となっている。

こうした状況の中、中央卸売市場が都民に生鮮品等を円滑かつ安定的に供給する基幹的なインフラとしての役割を、将来にわたって果たすことができるよう、今後の市場経営のビジョンを示すものとして、令和3年3月に東京都中央卸売市場経営指針を策定した。また、令和4年3月に、指針で掲げた「2040年代の中央卸売市場の姿」及び「持続可能な市場経営」の実現に向けて、令和4年度から令和8年度までの5年間を計画期間とし、都が取り組む施策と財政計画を示す中期経営計画である、東京都中央卸売市場経営計画を策定したところである。令和6年5月には、更なる経営改善に向けた検討素材として、また、市場会計の置かれている状況や東京都の経営改善の取組等を分かりやすく発信することを目的に「東京都中央卸売市場会計経営レポート」を作成した。

今後は、東京都中央卸売市場経営指針及び東京都中央卸売市場経営計画に基づき、遅くとも 2040年代の経常収支黒字化に向けた取組を推進し、持続可能な市場経営を実現していく。

(2) 令和6年度予算概要

中央卸売市場は、消費者ニーズの多様化や流通環境の変化、新型コロナウイルス感染症のような新たなリスクへの対応など、卸売市場を取り巻く環境が大きく変化する中にあっても、都民の日常生活に不可欠な生鮮品等の円滑な流通と安定した供給を確保するため、重要な役割を担っている。このため、各市場の現場における日々の課題解決と、東京都中央卸売市場経営計画の着実な推進を図るため、令和6年度予算においても限られた財源を重点的、効率的に配分して市場の抱える重要課題に対応できるものとした。

支出予算の総額は、866億5千7百万円で、令和5年度に比べ2.7%、金額で23億6千4百万円の減少となっている。

収益的収入と資本的収入の合計額は、234億8千4百万円となっており、収入と支出の差し引きでは631億7千3百万円となっている。

ア 収益的収支

収入としては、営業収益が184億1千2百万円余円で、内訳は、売上高割使用料が37億9千1百万余円、施設使用料が89億8千7百万余円となっている。

営業外収益は、50億7千1百万余円で、内訳は、一般会計補助金が31億1千7百万円、受取利息等が19億5千4百万余円、となっている。

これら営業収益、営業外収益を合わせた収益的収入の合計は、234億8千4百万円である。 支出については、市場事業費の総額が453億4千5百万円で、そのうち、営業費用が339億4 千8百万余円である。

営業費用のうち、人件費及び一般管理等に要する経費である管理費が198億8百万余円、業務の指導・監督及び生鮮食料品の統計資料作成等の経費である業務費については、1億9千6百万余円である。

減価償却費、資産減耗費は、固定資産の減価償却及び除却損等を計上し、139億4千3百万余円である。

営業外費用は、42億2百万余円であり、このうち、生鮮食料品の流通の安定及び消費者への 食生活情報の提供等に要する経費である生鮮食料品流通対策費が、15億2千7百万余円となっ ている。

支払利息及企業債取扱諸費は、6億5千4百万余円で、その他、繰延勘定償却、消費税及地 方消費税、雑支出を計上した。また、特別損失を71億9千2百万余円計上している。

イ 資本的収支

収入は、計上していない。

支出は、市場施設の整備等に要する経費であり、総額は413億1千2百万円である。

このうち、建設改良費は52億8千3百万余円であり、内訳は施設拡張費が4億9千4百万余円、施設改良費が47億2千6百万余円、工器具・備品等の購入に充てる資産購入費が6千2百万余円である。

今年度予算で計上した市場別の主な施設整備内容は以下のとおりである。

	市	場名		内容
豊	洲	市	場	監視カメラシステム改修工事
食	肉	市	場	市場棟南側冷蔵庫改修工事
大	田	市	場	事務棟西面サッシ外壁改修工事
豊	島	市	場	1・4号館トイレ改修工事
淀	橋	市	場	淀橋市場拡張整備事業準備工事
足	立	市	場	卸売場閉鎖化改修工事実施設計
板	橋	市	場	卸売場棟(青果)屋上駐車場防水工事
世	田:	谷市	場	南棟等照明器具取替工事
北	足 :	立 市	場	受変電設備改修工事
多タ		ニュン市		卸売場外周路面舗装補修工事
葛	西	市	場	花き棟エレベータ改修工事

その他、企業債償還金が360億1千万円、投資が9百万円、国庫補助金返納金が9百万余円である。

(3) 令和6年度中央卸売市場会計予算総括表

(単位:千円)

(3)	令7	和6年	F度中央卸	1元巾马	5会計1	ア昇が	が打衣			(単位:千円)
禾	¥						目	令和6年度 当初予定額	令和5年度 当初予定額	増(△)減
			売上	高	割 使	用	料	3, 791, 444	3, 741, 237	50, 207
	収入	営業収益	施 記	殳 /	吏	用	料	8, 987, 556	9, 002, 763	△ 15, 207
			雑	J	仅		益	5, 633, 521	5, 478, 875	154, 646
				i	}			18, 412, 521	18, 222, 875	189, 640
		営業外収益	一般	会	計補	助	金	3, 117, 000	3, 107, 000	10, 000
			受 取	利。	息 そ	の	他	1, 954, 479	2, 073, 125	△ 118,646
収				Ī	計			5, 071, 479	5, 180, 125	△ 108, 646
HX		特	別.		利		益	0	0	(
益		合					計	23, 484, 000	23, 403, 000	81,000
			管	į	理		費	19, 808, 244	19, 707, 456	100, 788
的		営業費	業	Ž	務		費	196, 778	184, 521	12, 257
		費用	減 価	償	却	費	等	13, 943, 479	13, 999, 467	△ 55, 988
収		用		i	計			33, 948, 501	33, 891, 444	57, 057
- 	支出	営	生鮮食	料品	流 通	対策	章 費	1, 527, 320	1, 637, 046	△ 109, 726
支		業	支払利息及企業債取扱諸費				者費	654, 657	947, 926	△ 293, 269
		外費	繰 延	勘	定 償	却	等	2, 020, 887	365, 345	1, 655, 542
		用「		i	計			4, 202, 864	2, 950, 317	1, 252, 547
		予		備			費	1,000	1,000	(
		特	別	J	損		失	7, 192, 635	6, 683, 239	509, 396
		合					計	45, 345, 000	43, 526, 000	1, 819, 000
	収		支	差	引		額	△ 21,861,000	△ 20, 123, 000	△ 1,738,000
		企		業			債	0	0	(
資	収	1	般 会	計	出	資	金	0	0	(
貝		玉	庫	補	助	J	金	0	28, 000	△ 28,000
本	入	そ	の他	上資	本	収	入	0	0	(
		計						0	28, 000	△ 28,000
的		建	設	改	良	Į.	費	5, 283, 457	5, 628, 457	△ 345,000
	支	企	業	債	償	還	金	36, 010, 000	39, 848, 000	△ 3,838,000
収		投					資	9, 000	9,000	(
支	出	玉	庫補」	助金	返納	金	等	9, 543	9, 543	(
又				計				41, 312, 000	45, 495, 000	△ 4, 183, 000
	収		支	差	引		額	△ 41, 312, 000	△ 45, 467, 000	4, 155, 000

(注)資本的収入が、資本的支出に対し不足する額は、〔損益勘定留保資金その他〕をもって補てんする。

(4) 令和6年度中央卸売市場会計予算の構成割合



